

## 人工透析審査委員会設置運営要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、障害者総合支援法第74条の規定に基づき更生医療の要否を審査するとともに、同法第63条及び第66条に規定する更生医療にかかわる指定医療機関に対する指導及び検査の充実を図り、更生医療の適正な給付を確保することを目的とする。

### (設置)

第2条 前条の目的を達するため、千葉県障害者相談センター（以下「相談センター」という。）に人工透析審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (構成)

第3条 委員会は、委員3名をもって構成する。

### (委員及び任期)

第4条 委員は、国公立病院の医師又はこれに準ずる病院の医師、千葉県医師会の理事等で人工透析療法に精通する者のうちから委嘱し、相談センターの嘱託医師とする。

2 委員の任期は2年とする。ただし、任期中途において委員の交代があった場合の後任の委員の任期は前任者の残任期間とする。

### (委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は委員の互選による。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指定する委員が職務を代理する。

### (委員会の開催)

第6条 委員会は月1回以上開催することとする。ただし、緊急やむを得ない場合は各委員の持ち回り審査で処理することとする。（持ち回り分は次回の委員会で報告する。）

### (審査内容)

第7条 委員会は更生医療を開始することの妥当性及び開始時期について審査する。

### (審査の方法)

第8条 委員会の審査は次の各号に掲げるものについて行う。

(1) 新たに人工透析を受けなければならなくなったため、更生医療の給付を申請した者（現に健康保険法、生活保護法等により人工透析を受けている者であって、更生医療の給付を申請した者を含む。）

(2) 人工透析を受けている者であって、治療の内容を変更する者

(3) 更生医療により透析療法を継続している者

2 審査の時期は、前項第1号及び第2号に掲げるものについてはその都度、同項第3号に掲げるものについては年1回行うものとする。

### (指導監査)

第9条 委員会は知事の要請に従い、必要に応じ県内の指定医療機関に対し報告を求め、又は実地に診療録等を検査し、必要な指導を行うことができる。

### (事務局)

第10条 委員会の事務局は相談センターに置く。